



2023年4月15日第459号
全日本年金者組合京都府本部
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp
発行責任者 山本和夫

進む仲間づくり

「楽しいから」が原動力

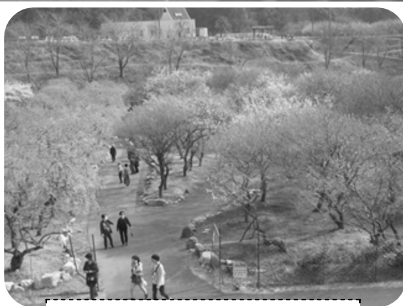
舞鶴支部

最高の峰を突破！ 310人目標達成

昨年秋の「仲間づくり月間(10月～12月)」では11名が増え、これまでの最高の峰を突破。さらに、今年の2月、3月で7人を増やし、支部の長年の目標だった310人(60歳以上の1%)を達成することができました。だからと言って舞鶴支部は特に優れた支部ではありません



桜見会・お楽しみ会・バス旅行・サークル



いなべ梅林旅行(2月実施)
梅の花を見に行こう とよびかけ47人が参加した。

間増やしと変わってきたこととです。その変化は「バス旅行に参加し、こんなに楽しいなら入る」、その新しく加入した人が「楽しいから、あんたも入ったら」と誘ってくれていることです。
(4面に続く)

その後も大きく増え、300名を超えた時期もありましたが、この間の努力に間わず、減ったりして290人台で推移していました。手をこまねいてはだめだと、いろいろと役員会議で議論し、他の支部の経験も取り入れるなど工夫を試みました。

女性の力、ネットワー

クを生かした活動で

このような苦勞が実を結び、仲間増やしの活動に大きな変化が表れてきました。今までの活動は極端に言えば、役員や力持ちの人が「増やさなければ」との使命で「増やしてきたところが大きかったです」が、数年前からは女性の持つ力、ネットワーが生かされた仲間増やしと変わってきたこととです。その変化は「バス旅行に参加し、こんなに楽しいなら入る」、その新しく加入した人が「楽しいから、あんたも入ったら」と誘ってくれていることです。

夕映え

現役選手で知っているのは大谷、村上くらいのも私でもWB C決勝戦を熱心に見て大喜びしました。ヌートバーとか吉田とか源田とかも知りました。視聴率もすごかったです。いろんな国のチームと一生懸命にたたかいたたえあう姿に感動もしました。スポーツの力つて素晴らしいです。▼第一かつこい！今まで恐竜一本やりだった5歳の孫が新聞を筒にしたバットを振り回し、3歳の妹は新聞をギューギュー丸めてボールを作り、2人で狭い部屋で野球ごっこを真剣にしています▼スポーツに打ち込めるのも、見て喜んでいられるのも、平和だからこそ。この孫たちが大きくなってからもスポーツを楽しめる国にしておく責任が大人にはあると思います▼徴兵は命かけても阻むべし母 祖母 おみな 牢に満つるとも——この歌は石井百代さんという方が、1978年有事立法の研究を時の福田首相が指示したことに抗議してよまれた歌、朝日歌壇に掲載されました。(K・A)

各地で原発ゼロ集会・デモ開催

「バイバイ原発」京都 円山集会に1200人

東日本大震災と東京電力福島原発事故から12年。「バイバイ原発3・11きょうと」が同実行委員会主催して円山音楽堂で開催され1200人が参加しました。



帰政策について『「帰帰どころか」こり押し』とし、市民の力で、無責任な岸田政権を追求しようと呼びかけました。

集会後参加者はデモを行い、観光客でにぎわう街に

「原発止めよう」「未来を守ろう」「老朽原発今すぐ廃炉」の声を響かせました。

集会では「政府の原発回帰方針は重大事故への道。省エネと再生可能エネルギーで気候危機を打開し、脱原発社会を1日も早く実現しよう」と決議しました。

原発ゼロ北部集会に 250人が参加

龍谷大学の
大島堅一教授

3月12日、舞鶴総合文化会館で

は「原発はもう時代遅れた」として講演。岸田首相による原発回



災での福島原発で問題となっている最大の問題は、原発事故以来、使用済み核燃料の処理方針がないことだ。当初は私自身、科学進歩の早い時代、そのうちなんとかなるのではないかと考えていた。核燃サイクルは莫大な税金をつぎ込んだ末「もんじゅ」の廃炉という結論で幕を下ろした。所詮できない夢物語なのだ。

主催者の挨拶、事務局からの報告に続き、市川章人さんによる「原発政策の転換は何をもたらすのか」の記念講演が行われ、日本の軍拡で、原発が攻撃されると非常に危険。原発大国日本は破滅の道まっしぐらとなる。温暖化防止には建設コストの低い再生エネの活用が環境を守るうえで重要な話があり、各地からの報告後、市内をデモ。「原発ゼロを」「再稼働反対」などアピールし、年金者組合も旗を掲げ、元気に行進しました。

「高浜原発」に想う

舞鶴支部 迫田薫さん

原発をなくすことはエネルギー、地域経済、雇用をどうするかという政治の政策的な問題だ。政治が牛耳る原子力安全委員会は、原発は安全だと言い続ける。しかし安全なら都会に作ればいい。そうすれば送電のコストもかからない。しかしなぜそうしないのか、ここに自ずと答えはある。国民の命の安全よりも企業の利潤と、私腹を肥やすことに奉仕する政治を変えなくては日本の未来はない。

高浜原発が稼働を始めて47年たつ、当初から言われてきた「トイレなきマンション」という言葉はその通りだ。今

3・13重税反対・消費税増税反対行動

各地の取り組み

丹後地域

(丹後支部・真下支部長)

丹後地域での3・13行動は、丹後民主商工会、全京都建築労働組合奥丹後支部、京都農民連丹後地域センター、全日本年金者組合丹後支部の4団体の構成で事前の実行委員会を開催し、申し入れ書の検討をして峰山税務署に申し入れを行いました。3月13日には、丹後文化会館芝生広場で120人が



集会を開きました。丹後支部からは10人名の組合員が参加しました。集会アピールを採択し、峰山税務署までデモ行進し、申告される方は①マイナンバー有り②マイナンバーなし(申告の控えに受付印が不要な方)③マイナンバーなし(申告書の控えに受付印が必要な方の3つの窓口で申告されました。

申告終了後、税務署相談室で申し入れの回答説明があり、この時年金者組合は141筆の請願書を提出しました。請願書はお届けしませんが受け取られました。請願書の項目は税制に関するものなので回答は控えさせていただくとのことでした。

宮津与謝地域

(宮津与謝支部 片山書記長)

宮津与謝地域では3年ぶりに宮津税務署まで50人がデモ行進しました。年金者組合の参加は5人でした。

京建労や民商が一斉確定申告をされ、その後別室で総務課長に請願書78筆を提

出、中央へ届けてくださいと申し入れ、課長は「わかりました。送付します」と回答されました。

綴喜地域

(綴喜支部 中村書記長)

京田辺商工会館で京建労、民商、労組組合員50人が参加する集会があり、年金者組合からも4人が参加しました。中村書記長が連帯の挨拶を行いました。

集会終了後、京建労、民商のみなさんは確定申告のため、バスで宇治税務署に向かわれ、私たちも同乗させてもらいました。総務課長に請願書95筆を提出しました。

支部共済担当に なつて一年

山科支部共済担当
竹井登志郎さん

一昨年の定期大会後支部共済担当になりました。それまでは担当者任せで、拡大推進キャンペーンや拡大報奨金等の事は、執行委員でも知らないのと、同時に機関紙等でも共済関連の記事掲載も少なく、「共済」の支部内での認知度が低くかつたです。

私が担当になり、まず春と秋のキャンペーンの時には加入や問い合わせの内容と拡大報奨金等の詳細な内容等を支部執行委員会で繰り返し議論しました。そして執行委員が率先して「何かしらの共済」に加入してメリットを知ってもらい、一般の組合員に拡げてもらうようにするため、共済の成り立ちやメリット等を繰り返し議論すると同時に、月々定期発行の支部機関紙でもキャンペーンを宣伝・告知する事により、一般組合員からの問い合わせも増やす事も出来ました。



共済対話キャンペーン実施中!

4月1日～6月30日

〈500人対話キャンペーン〉

・対象者(組合員、組合加入対象者)にパンフレット等を渡し各種共済への加入・増口の個別対話…拡大宣伝費1000円

〈プラスワン(+1)キャンペーン〉

・拡大月間中に「新規・増口」加入1名につき…拡大顕彰金1000円



〈共済説明会援助キャンペーン〉

・拡大月間中に機関会議等で「共済説明会」開催(3名以上)

15分以上…援助金5千円

30分以上…同 1万円

(講師は京滋共済事務局が原則)



組合員の生活を守る共済で
家族みんなの安心・安全を
京滋労働組合共済会

仲間づくり 活動するのが 楽しい支部活 動をめざそう

誰でも参加できるお金の
からない取り組み工夫へ

舞鶴支部
三澤正之さん

2月・3月の仲間づくりも、「梅花の名所を訪ねる旅(いな市梅林公園)」に「一緒にバス旅行に行く」との誘いに応え、新しく参加した人が加入。

再開した「グランドゴルフサークル」に初めて参加した人が4月の「京都岡崎周辺の桜を愛でる旅」に行きたいから「と友達を誘って、揃って加入してくるなど、これまでも女性部が支部活



信楽登り窯を見学

動を支えましましたが、改めて、女性の持つ日頃からの繋がり、ネットワークが仲間づくりに生かされている、女性の力の大きさを感じています。

これから言えることは、従来の役員、力持ち組合員の「使命感」からの拡大が、今は「楽しいから」と組合員のそれぞれがお友達を誘うの拡大に変ってきたことです。「楽しみ七分」が少しは実現できたのではないかと思います。

これからの課題では、誰でもが「活動することが楽しい」への支部づくりをめざします。これからの舞鶴支部の課題としては、支部としての大きな取り組み・行事は出来ていますが、発足時からの課題である、班、分会の結成、支部行事には参加できないが近くなら、お金が掛からない(ワンコインまで)なら参加できるという方々の要望に応える「お楽しみ会」など、地域での取り組みをつくり上げていくことです。

また、「映画サークル」「グランドゴルフ」など、気楽に誰もが参加できるサークル活動をさらに活性化することで、各人の趣味や要望に応じて、機敏に取り組める力を付けていくことです。それぞれの取組の担い手になる「仲間を厭わない」人をつくっていくことだと思います。

また、年金者組合の本来の趣旨の「誰もが安心して暮らせる年金を」とや自治体に対する高齢者の要求を運動化する力をつけていくことです。

仲間づくりへ 各支部 のとりのくみ

高齢者の要求に沿った
レク活動で仲間が増える

(右京支部 平井敏さん)

右京支部は1月から初詣や有馬温泉、花見などレクレーションを9回取り組み、レクレーション以外の加入と合わせて11人の方を組合に迎え入れました。

3月は花の観賞をと3月15日に中・右京健康友の会と共催で城南宮の枝垂れ梅の鑑賞会を行いました。当日は友の会と年金者組合とあわせて33人の方が参加をされました。残念ながら枝垂れ梅はもう終わりがけていましたが、庭園には椿の花が何種類も咲いていて、参加されたみなさんはとても喜ばれていま



た。組合に入っておられない方に勧めその場で一人の方が入られました。

29・30日には亀岡の七谷川の桜観賞を取り組みました。組合員のグループの都合にあわせて2日間の取り組みになり約40人が参加しました。

レクレーションに参加された組合未加入の方に勧め、簡単に加入してもらええる状況でした。

楽しいお食事会や編物サークル

(中京支部 高橋つや子さん)

楽しいお食事会には毎回20人(25人が参加されます)。メニューを決めるのは難儀ですが、季節に合わせ旬の食材で考え、調味料の残りなど使うので、毎回よく似たメニューではありますが、参加者の皆さんが手伝ってくださり、調理場は大変賑やかで楽しく作っています。大勢で食事すると元気になります。

編物サークル、ちぎり絵サークルを立ち上げました。編物サークルは、最初簡単なものからはじめました。帽子、アクリルたわし、マフラーなど。出来上がると達成感が有り、今はベストだったり、スマートフォンケースに奮闘中です。

ちぎりの絵では、ハガキサイズに果物、花、野菜など貼って時間内に出来上がるので、皆さんの作品を見てきれいとか、グ



デーシヨンが良いとか、言い合います。組合員の方もそうでない人も、どんなことをしているのかと思っ

場所づくりのはじめの1歩

『囲碁・将棋合同サークル』結成

(伏見支部 佐藤和夫さん)

コロナ禍の中で、ソーシャル・ディスタンスやマスク着用が強調される日々が続きました。民医連城南診療所(伏見区竹田真幡町)の健康友の会と伏見年金者組合とで、「囲碁・将棋合同サークル」を結成します。

第1回は4月14日(金)午後1時半より4時半とし、同診療所内の「健康友の会」ルームで行います。初心者には、年金者組合の山田さんが教えます。また、将棋での「ひよこ廻り」や囲碁で「オセロ」ゲームなど色々やれるようにします。要するに、アクリル板のパーティションやマスクなど利用しつつ、一人ぼっちにならずに楽しめます。